

ようこそ！ 松戸の森へ



身近にある
小さいけれど本物の森

森を楽しみ、森をはぐくむ
心が開放されるひとときを・・・

松戸の森のはなし



矢切の斜面林

森って いいよね！

わたしたちは森の緑を目にしたり、鳥のさえずりを耳にしたりすると心が癒されます。森は空気をきれいにし、夏には涼しい風を生み、小鳥や虫たちの生きる場所であり、虫捕りをしたりドングリをひろったり…子どもたちにとっては楽しい遊びや体験の場でもあります。



幼稚園から森へお散歩

残りわずか…松戸の樹林地

かつては人々の暮らしを支えていた里山の樹林地…適度に人手が入ること
で守られ、いろいろな生き物の“命輝く
自然”がありました。しかし松戸の民有
林は減り続け、現在ではほんのわずかな面積となりました(2020年度には99ha、市域の1.6%)。都市部に残されたわずかな森は今や“地域の宝”です。

所有者の現状

先祖から引き継いだ森を、そのまま残したいという思いで持ち続けていても、今では何の経済的価値も生み出しません。そればかりかゴミの不法投棄や近隣住民からの苦情など、苦勞が大変多いのです。

仕事を持っていたり高齢だったり、思うように森の手入れができていない状況です。



森の中には不法投棄のゴミが散乱



関さん宅と屋敷林

緑を愛するひとびとの動き

生き物たちをはぐくむ森を、何としてもそのまま残したいという所有者の思いから、公益財団法人に寄贈された「関さんの森」では、その森を保全するため 1996 年市民グループが活動をはじめました。

樹林地の減少を何とかくい止め、緑を守りたいという思いは、市民、所有者、行政共通のもので

2002 年森の所有者は「松戸ふるさと森の会」を設立しました。

行政も 2000 年、条例に基づき「緑推進委員会」を設け、この委員会において「里やまボランティア入門講座」が 2003 年に始まりました。

その後講座は市民と行政との協働で毎年行われており、その修了生が里やま応援団として、所有者の理解・協力と行政の応援を得て森の整備活動を始めました。勉強会を行ったり情報を共有する仕組みを作ったりと、自主的に活発な活動を展開しています。また、市の公園や緑地でも市民ボランティアが頑張っています。



里やまボランティア入門講座

一方行政は市内の樹林地について緑の条例による「保全樹林地」「特別保全樹林地」の指定を推進し、重要な樹林地については都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」に指定し、将来に渡って保全しています。(現在、矢切、栗山、幸谷の3地区)

オープンフォレスト in 松戸の開催

2012 年、市民に身近な森を知ってもらい、楽しんでもらい、その素晴らしさを感じてもらおうという、日本で初めてのイベントが行われました。森で活動している市民ボランティアの発案で実行委員会を立ちあげて実施したもので、その後も毎年開催しています。



オープンフォレストで楽しいひと時

本気で虫捕り



森の音楽会



田植え体験



森での体験

高校生も大活躍



あそび
まなび
いやし



タケノコ掘り



発見がいっぱい



ボランティア体験

竹馬体験



森のヨガ



木登り



オープンフォレストでも



この葉っぱやわらかいねー



初めてのノコギリ



お父さんの休日



朝のミーティング



竹林整備

森の活動



道路に張り出した枝の処理



下草刈り



炭焼き



あなたも森の仲間になりませんか？



安全講習会



キッズ隊の活動



落ち葉掃除は大切な仕事



仲間との懇親交流



不法投棄とのたたかい



湧水池の清掃

森の自然とは・・・

森の生態系・・・いろいろいるから森なんだ！

木がたくさんあるだけでは森とはいえません。背の高い木、背の低い木、樹の下の草やコケ、落葉の層、フカフカの土、そしてそこにたくさんの生き物がいていて、初めて“森”と呼ぶことができるのです。

命のつながり・・・嫌われ者も役立っています！

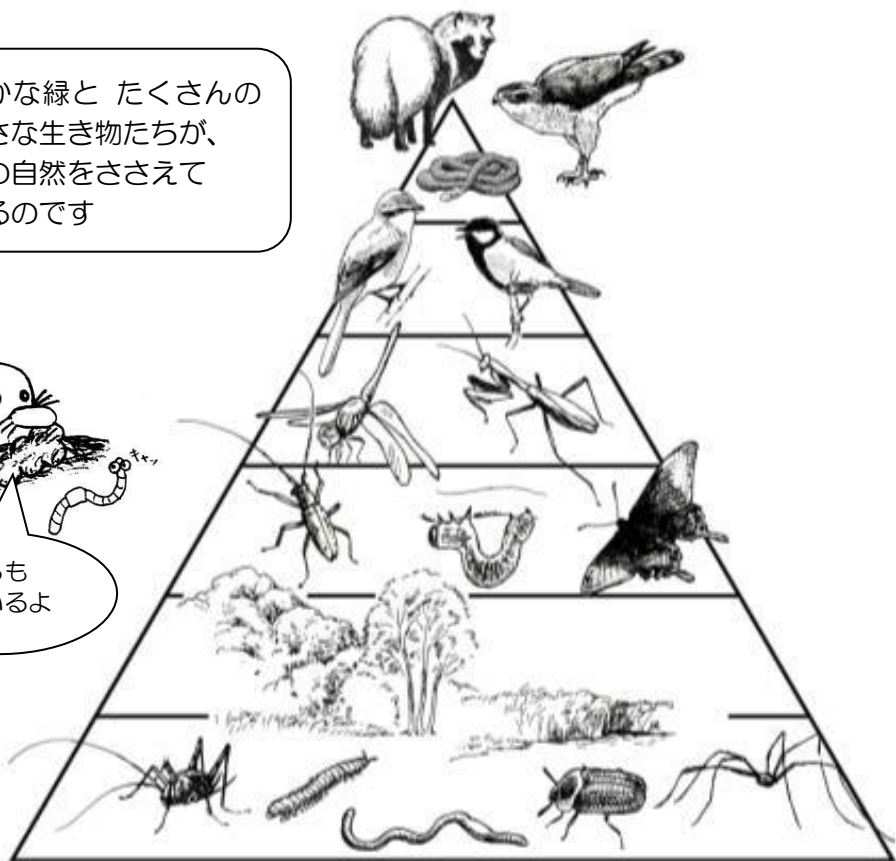
森には、【木や草】→【蛾の幼虫】→【カエル、カマキリ、小鳥】→【オオタカ、フクロウ】のように、“食う食われる”の命のつながりがあります。

落葉や枯れ枝、動物の死骸や排泄物を分解する生き物も含め、不要なものは何ひとつありません。ヒトからは嫌われがちな蛾・毛虫やクモなども棲むおかげで、小鳥たちは子育てができるのです。

豊かな緑と たくさんの
小さな生き物たちが、
森の自然をささえて
いるのです



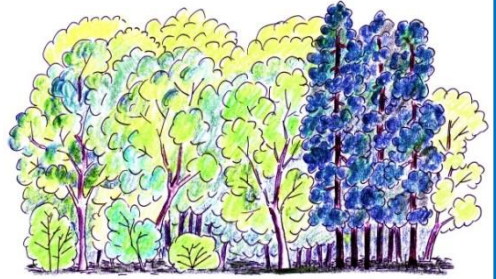
ほくらは
森にいるよ



生態系ピラミッドの例（絵：平岡考）

《森には発見がいっぱい！》

森には発見がいっぱいあります。森には木がたくさんありますが、木の中にも高いものや低いもの、太かったり、細かったり、また木の葉っぱも、丸めで広いもの、細長くて針のようなもの、つやつやしたものやざらざらしたもの、大きな手のひらのようなもの、においをもつものなどさまざまです。また森では思いがけないところにきれいな花が咲いていたり、落ちていくかわいらしい木の実を見つけたりします。



森に入ると、そこをすみかとするヘビ・トカゲ・カエルなどの動物や、葉っぱを食べる昆虫や木の幹をかじる昆虫、そしてそれらの昆虫や木の実を食べる小鳥、さらにその小鳥をねらうタカなどの大型の鳥など、さまざまな生き物たちにも出会うことがあります。また、森のふかふかした土や落ち葉の中には動物の死体を食べるシテムシや落ち葉を食べるミミズやダンゴムシ、それに落ち葉や枯れ枝などを分解(ぶんかい)するキノコのもとになる菌類(きんるい)など、小さな生き物もたくさん住んでいます。

このように森は多くの生き物に住むところや食べ物を提供しています。でも一方で、森の木も成長するためには土の中の養分が必要です。その養分を含んだ土は、鳥などの動物の死体や、枯れた枝や落ち葉などを土に戻すはたらきをする小さな生き物とキノコなどの菌類などはたらきによってつくられています。森は、たくさんの生き物の生活を守っており、そしてたくさんの生き物が森を守っていると云えます。



さあ、そんな森に入って何か新しい発見をしてみましょう。

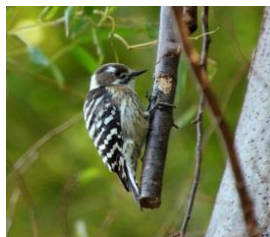
松戸の森で見つけよう！

森によって、季節によっても、見られるものはちがいます



フクロウ

大木のウロで子育てをする。ゴロスケホーホーと鳴く。松戸の夜の生態系ピラミッドの頂上に位置する鳥。



コゲラ

ギ〜ツと鳴く小さいキツツキ。コツコツと幹の中の虫を探す。枯れ枝に掘った穴で子育てをするので、森の枯れ木は必需品。



シジュウカラ

森の芋虫・毛虫で子育てをする。ネクタイ模様が太いのが雄。ツピーツピー、ジुकジुकなどと鳴く。



エナガ

小さな丸い体に細くて長い尾。忙しく動きまわり、ジュリジュリと銀のネックレスをこすり合わせる音のような声で鳴く。



カナヘビ

長いしっぽが特徴のトカゲ。小さな生き物を食べる。光沢があるトカゲはニホントカゲ



オニヤンマ

トンボの幼虫は水の中で育つヤゴだが、羽化してから成熟するまで、森などでエサを捕って過ごす。



カマキリ類

オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ、コカマキリの4種類がみられる。



ジョロウグモ

その美しさから上臈（身分の高い高貴な人）の名が付いた。森で蚊をたくさん食べてくれている事だろう。



ナナフシ（ナナフシモドキ）

葉を食べて育つ。枝に擬態しているので、なかなか見つからない。写真は赤ちゃん。



ナガサキアゲハ

森の中でよく見かけるようになった黒いアゲハチョウ。季節や雄雌で若干色柄が異なるが、後翅の突起が無いのが特徴。



オオミズアオ

大きくて美しい蛾。幼虫はいろいろな木の葉を食べて育つ。蛾の幼虫は小鳥たちの大切なごちそう。



クマバチ

蜜や花粉を集めて子育てするハナバチの仲間。大きいけれど、いじめなければ刺すことはない。



タマムシ

金属光沢のある美しい甲虫。幼虫はエノキやサクラなどの弱った木や枯れ木の材を食べて育つ。



エゴツルクビオトシブミ

エゴノキの葉を食べる。卵も葉をクルクルと上手に巻いた中に産み付ける。



イヌシデ

ぶら下がる実の房を神社の四手に見立てた。縦波模様の樹皮を目印に探すと、きつと見つかる！



エゴノキ

明るい森や林縁でたくさんの花をつける。下向きの花はハナバチの訪問を待っている。



スイカズラ

林縁に多いツル性の木。夏に咲く花の色は白から黄色に変わる。香りと蜜で虫を呼ぶ。



ガマズミ

明るい森の中や林縁でよく花をつける低木。秋の赤い実はとても酸っぱいが、鳥にはごちそう。



ウグイスカグラ

林内の低木。春先に小さなピンクの花を咲かせ、5月に透明感のある美しい実がなる。



タチツボスミレとキタキチョウ

早春の明るい林をいどる花は、成虫で越冬したチョウやハチの大切な蜜源。



キンラン

荒れた林を整備して明るくなると、シュンラン、キンラン、ギンランなどの花が多く見られるようになる。



ハナオチバタケ

森の落葉や枯木を栄養にして育つキノコは、有機物を分解し森の肥料にしてくれる、大切な森のメンバーだ。

松戸の森に関する団体など

さまざまな人たちが、緑を守る活動や仕事をしています。実際に森で活動しているオープンフォレスト実行委員会の団体については、ガイドブック後半の「松戸の森のご案内」にて紹介しています。

松戸ふるさと森の会

(連絡先:366-7378 みどりと花の課)

残された緑を守り、貴重な自然環境を次世代に引き継ぎたいと願う山林所有者の団体。2002年5月に結成。都市環境保全林に関する国への陳情、視察研修会など。

松戸里やま応援団連絡会

(連絡先:345-6086 野口功)

「里やまボランティア入門講座」の修了生が設立した里やま活動団体の連絡組織。共通する課題の協議やステップアップ講座などを実施している。

松戸里やま応援団 いいなの会

(連絡先:090-6026-5428 淵上和宏)

2019年の「里やまボランティア入門講座」の修了者により結成された会。他の会が活動中の森の作業に参加しつつ、自らの会の活動対象の森の決定に向け交渉中。

Save the Green @Akiyama

(連絡先:090-6472-2131 西マリヤン)

毎月第4土曜日に「秋山の森」で季節を感じるイベントを企画し、同時に森のお手入れ活動を行っている。「森育あそび教室」等を通じ若い世代に積極的に参加を呼び掛けている。

河南環境美化の会

(連絡先:391-6844 高橋清)

市内河原塚で第1号古墳が残る森の雑木及び古木の整備を行い、広場では森林浴をしながらのグランドゴルフも楽しんでいる。又、年2回の国分川の清掃、緑花推進などで活動。

緑のネットワーク・まつど

(連絡先:090-2935-9444 高橋盛男)

豊かな生態系を保つ森を次世代に伝えることを目的に、2000年に発足。観察・学習ツアーを年3回実施。市内のみどりに関する情報を掲載した通信を発行している。

関さんの森エコミュージアム

(連絡先:090-9156-4960 木下紀喜)

長い時間をかけて形成されてきた関さんの森の自然と歴史遺産をそのまま保全し、生きた形で自然や文化を体験学習する場として整備・活用することを目指している。

千駄堀を守る会

(連絡先:090-4667-0209 山田純穂)

市内で最も自然が残る千駄堀地域(現「21世紀の森と広場」)の豊かな生態系を守るために作られた自然保護団体。毎月第四日曜日に自然観察会を実施し記録を残している。

松戸市みどりと花の課

(連絡先:366-7378)

樹林地の保全、街路樹・公共緑地等の管理、民有地の緑化推進、花いっぱい事業の推進、緑のボランティアの育成などを行っている。

松戸市公園緑地課

(連絡先:366-7380)

公園緑地の計画、新設、改良、維持及び運営管理に関する業務を行っている。市民との協働による事業展開も図っている。

松戸市緑推進委員会

(連絡先:366-7378 みどりと花の課)

緑の保全及び緑化の推進に関する基本的事項を調査審議する市長の諮問機関。

第一回の里やまボランティア入門講座を実施した。

みどりの行動会議

(連絡先:366-7378 みどりと花の課)

松戸すみどりの市民憲章を普及・定着させるため、イベント等を企画・実践している市民ボランティアの集まり。「みどりのマップ作り」「七夕プロジェクト」などを行ってきた。

(公財)松戸みどりと花の基金

(連絡先:710-2851)

広く市民の自発的・積極的な参加を得て都市緑化の推進を図り、緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりを推進することを目的に、その活動と支援事業を展開している。

オープンフォレスト in 松戸 実行委員会

(連絡先: 090-3313-0921 事務局)

2010年より始動。みんなで協力してオープンフォレスト in 松戸を開催している。

実行委員長:柳井重人(千葉大学)

構成団体:松戸ふるさと森の会、松戸里やま応援団一起の会、同囲いやま森の会、同三樹の会、同四季の会、同里やまV・千駄堀、同小浜の森の会、同七喜の会、同八輝の会、同里やまQ、同みなみの森の会、同樹人の会、同甚左衛門の森の会、同樹護の会、松戸里やま応援団、関さんの森を育む会、溜ノ上レディース、根木内歴史公園サポーター・根っ子の会、緑のネットワーク・まつど。

松戸みどりの市民憲章

私たちのまわりには、樹木、草花、水、土、空そしてさまざまな生きものから構成される**みどり**が存在しています。私たちは、自身と輝かしい未来を担う子どもたちの幸せのために、これまで育まれてきた**みどりの**財産を分かち合い、守り育て、豊かにしていきます。そのために、市民・企業・行政の三者が、それぞれの立場において、**みどりの**もたらす恵みに想いをはせ、自覚と責任、対話と協働に基づいて行動します。

1. 松戸市民は**みどり**と暮らす豊かさを大切にします。
1. 千年来の**みどりの**声に耳を傾け、百年後のみどりを育てます。
1. 子どもたちの夢とあそびを受けとめる**みどり**をいっぱいにします。

平成 16 年 10 月 1 日制定

松戸の森のご案内

活動日やオープンフォレスト公開日をお待ちしています

民有林のため、普段は非公開の森もありますのでご注意ください。
森は、トゲがあったり足元が悪かったりします。安全に十分注意し
てお楽しみ下さい。森は禁煙です。駐車場やトイレはありません。

発行：第9回オープンフォレスト in 松戸実行委員会・松戸市

ボランティアが活動する森の場所と一覧



■幸谷・根木内地区

- ① 関さんの森
- ② 溜ノ上の森
- ③ 根木内歴史公園

八ヶ崎・金ヶ作地区

- 八ヶ崎の森
- ホダシの森
- 囲いやまの森
- 三吉の森
- 立切の森
- 金ヶ作野中の森

千駄堀地区

- 芋の作の森
- しんやまの森
- 縄文の森

(21世紀の森と広場内)

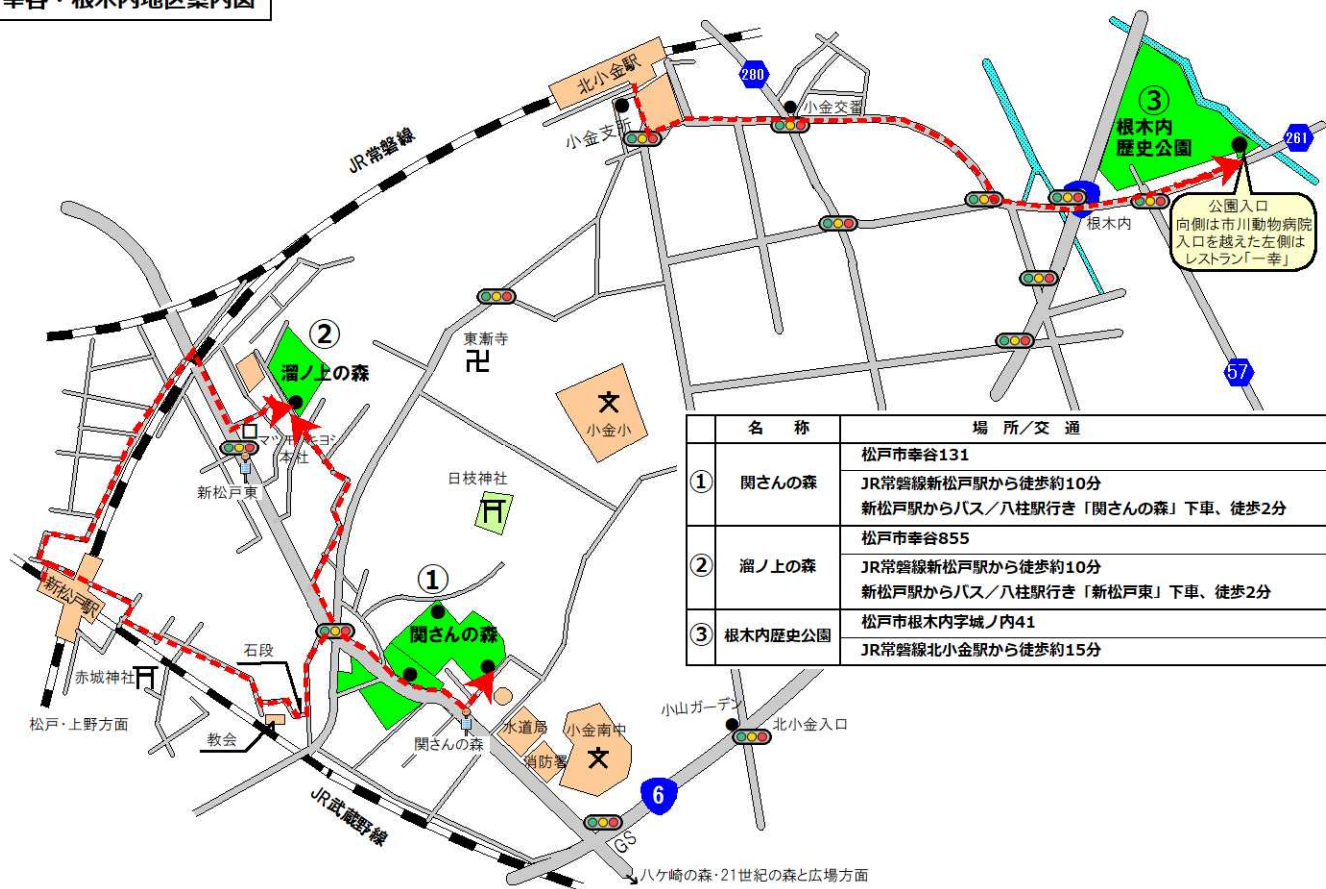
■紙敷・秋山・高塚新田地区

- ⑬ 紙敷石みやの森
- ⑭ 紙敷みなみの森
- ⑮ 野うさぎの森
- ⑯ 秋山の森
- ⑰ 小浜屋敷の森
- ⑱ 甚左衛門の森

MEMO

各森の紹介は次ページ以降参照

幸谷・根木内地区案内図



名称	場所/交通
① 関さんの森	松戸市幸谷131
	JR常磐線新松戸駅から徒歩約10分 新松戸駅からバス/八柱駅行き「関さんの森」下車、徒歩2分
② 溜ノ上の森	松戸市幸谷855
	JR常磐線新松戸駅から徒歩約10分 新松戸駅からバス/八柱駅行き「新松戸東」下車、徒歩2分
③ 根木内歴史公園	松戸市根木内字城ノ内41
	JR常磐線北小金駅から徒歩約15分

ハケ崎の森・21世紀の森と広場方面

① 関さんの森【関さんの森を育む会】新松戸駅から徒歩 10 分

住宅地と道路に囲まれた約 2ha の里山空間。内 75%が「特別緑地保全地区」に指定されている。屋敷林・梅林・関家の庭などからなり、散策・学習・体験・癒しの場として活用されている。屋敷林は常時開放。維持管理作業を中心に観察会・花まつり・そうめん流しなども開催。エコミュージアムとしての整備を進めている。

[活動日：第一（日）・第三（日）10時から 連絡先 Tel090-9365-9608 武笠紀子]



② 溜ノ上の森【溜ノ上レディース】新松戸駅から徒歩 10 分

関さんの森の飛び地、住宅に囲まれた小さな森。「地域の人から愛される、多様な生き物が棲める森」を目指して、自然が好きな女性たちを中心にコツコツと整備をしている。明るい森は狭い割には植物の種類が豊富で、散策路にはベンチもある。常時開放されており、保育園児もお散歩に来る。

[活動日：第二（金）・第四（金）10時から 連絡先 Tel080-4090-9689 渋谷孝子]



③ 根木内歴史公園【根木内歴史公園サポーター】北小金駅から徒歩 15 分

中世の根木内城跡で、空堀・土塁・土橋などの遺構がみられる。台地と斜面の豊かな樹林、芝生広場、上富士川沿いに湿地が広がり、自然豊かな歴史公園。湿地には希少植物がみられ、田んぼでもち米を栽培し、田植え・稲刈り・お餅つき・お楽しみイベント。ザリガニ捕りができて、夏休み工作づくり・虫ハカセになろう！を開催。皆で楽しむ公園。

[活動日：毎週（金）午前中 連絡先 Tel343-8041 三嶋秀恒]



八ヶ崎地区（地図は後のページ）

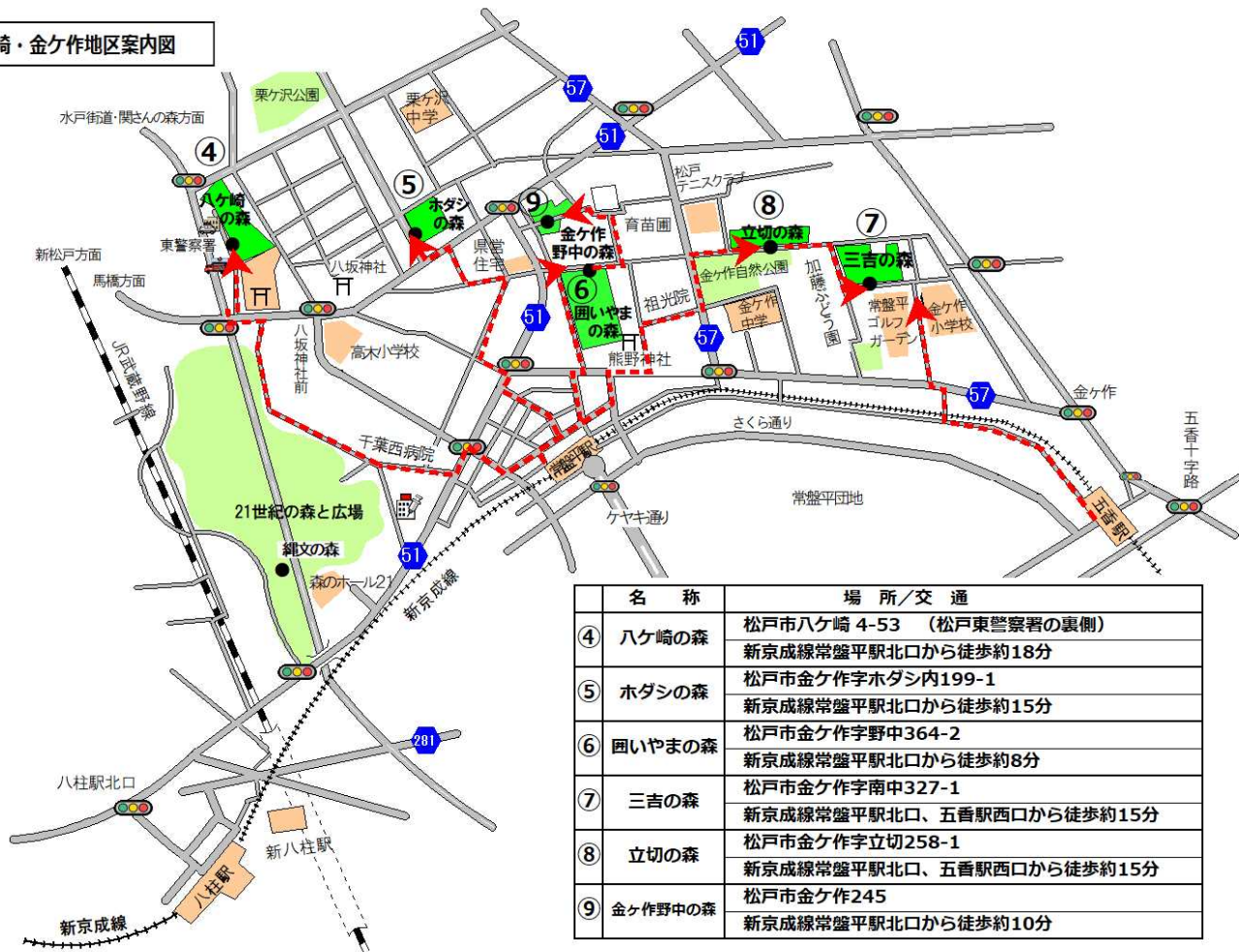
④ 八ヶ崎の森【松戸里やま応援団 一起の会】常盤平駅北口から徒歩 18 分

住宅に隠れて斜面の上部樹林しか見えない北東向きの斜面林。その大半が伐採され、スギ・シラカシ・落葉樹が高く伸びる細長い森。伐採跡には、地域の人に愛され、楽しめる森の再生を願って植樹した苗木が、花を付け斜面を彩るようになった。植樹に参加した保育園の園児たちが、森遊びを楽しみに訪れている。

[活動日：第一（水）・第二（水）・第四（水）午前中 連絡先 Tel090-9812-5614 佐竹道乃]



八ヶ崎・金ヶ作地区案内図



名称	場所/交通
④ 八ヶ崎の森	松戸市八ヶ崎 4-53 (松戸東警察署の裏側) 新京成線常盤平駅北口から徒歩約18分
⑤ ホダシの森	松戸市金ヶ作字ホダシ内199-1 新京成線常盤平駅北口から徒歩約15分
⑥ 囲いやまの森	松戸市金ヶ作字野中364-2 新京成線常盤平駅北口から徒歩約8分
⑦ 三吉の森	松戸市金ヶ作字南中327-1 新京成線常盤平駅北口、五香駅西口から徒歩約15分
⑧ 立切の森	松戸市金ヶ作字立切258-1 新京成線常盤平駅北口、五香駅西口から徒歩約15分
⑨ 金ヶ作野中の森	松戸市金ヶ作245 新京成線常盤平駅北口から徒歩約10分

⑤ ホダシの森【松戸里やま応援団 四季 よんき の会】常盤平駅北口から徒歩 15 分

あまり広くはないが、落葉樹を中心とした明るい森。南側は、いろいろな種類の桜の園。四季の会は女性会員が多く、そのメンバーがどのような活動ができるかという実験の森でもある。隣の老人福祉施設「ひなたぼっこ」の入所者・家族と交流している。住居地に残る貴重な森として、“癒しの森の創造”に取り組んでいる。

【活動日：第一（土）、第三（土）午前中 連絡先 Tel.345-5283 斉藤幸男】



⑥ 囲いやまの森【松戸里やま応援団 囲いやま森の会】常盤平駅北口から徒歩 8 分

鬱蒼とした杉林、明るい雑木林、開けた草地、密生したササ藪など、変化に富んだ約 2ha の広い森。ウグイスやコジュケイが鳴き、コゲラが叩き、小鳥が飛び交う。草地には昆虫が群れ、南西部の低地には畑があり、周囲をさまざまな花や実が季節を彩る。秋に開催の「森の音楽会」や親子連れの自然観察・森体験の場として森を活用している。

【活動日：第一（土）、第三（火）午前中 連絡先 Tel.346-7063 壺岐貞俊】



⑦ 三吉の森【松戸里やま応援団 三樹の会】常盤平駅北口、五香駅東・西口から徒歩 15 分

森は、ケヤキとシラカシの巨木や多品種の山茶花と椿が植栽された屋敷林が骨格となり、中には竹林が広がり、イヌシデ、ムクノキ、コナラ、コブシ、モミヤツガなどの大木も茂る。植物相の豊かな林内には散策路が整備され、多様な虫や鳥と出会う機会も多い。会では、森の整備に加え、竹・木の細工、草木染めの講習や竹炭焼き等とも取り組んでいる。

【活動日：第一（土）、第三（月）、第四（月） 連絡先 Tel.090-9845-3005 三原日出登】



⑧ 立切の森【松戸里やま応援団 三樹の会】常盤平駅北口、五香駅東・西口から徒歩 15 分

三吉の森とは道路を斜めに挟むところに位置する明るい雑木林である。南側に常緑樹の高木が茂る薄暗い森の金ヶ作自然公園がある。会では出来るだけ雑木林（コナラ、ミズキやクマノミズキ、イヌシデ・アカシデ・クマシデなど）が維持されるように作業を続けている。道路に沿った小さな森であるが、明るい林内では、多種類の植物、虫や鳥が観察される。

【活動日：第一（土）、第三（月）、第四（月） 連絡先 Tel.090-9845-3005 三原日出登】



千駄堀地区案内図

名称	場所/交通
⑩ 芋の作の森	松戸市千駄堀字芋ノ作896・897
	新京成線八柱駅、JR武蔵野線新八柱駅から徒歩約12分 松戸駅東口及び北松戸駅東口から新京成バス『総合医療センター』行 終点下車徒歩約5分
⑪ しんやまの森	松戸市千駄堀字新山868～870
	新京成線八柱駅、JR武蔵野線新八柱駅から徒歩約10分
⑫ 縄文の森	松戸市千駄堀269 「21世紀の森と広場」内
	新京成線八柱駅、JR武蔵野線新八柱駅から徒歩約15分 八柱駅よりバス/新松戸駅行き又は八柱循環「公園中央口」下車徒歩約5分



金ヶ作地区 (地図は前のページ)

森【活動団体】の紹介

⑨ 金ヶ作野中の森【松戸里やま応援団 樹護の会】常盤平駅北口から徒歩 15分

活動を開始して一年が過ぎようとしている新しい会です。松戸市の育苗圃の北側に接する広さ0.5hほどの森、スギやサワラ等が植栽された針葉樹、高木の照葉樹、またヤマザクラ等の落葉広葉樹等が入り混じった森です。森本来の姿も残しつつ、野草や小鳥など自然との共生ができるような森のゾーニングプランをつくって、保全活動を進めて参ります。

【活動日：第一(土)・第三(水) 午前中 連絡先 Tel367-6020 中村詔夫】



千駄堀地区

⑩ 芋の作の森【松戸里やま応援団 八輝の会】八柱駅北口から徒歩 12分

21世紀の森に隣接した松戸市の中心地区千駄堀に位置するが、住居エリアからは少し離れ、畑に囲まれた静かな樹林地。森の奥に咲くヤマユリや、たわわに実る栗、周辺の紅葉から差し込む木洩れ日など、芋の作の森は四季を通じて楽しみを与えてくれます。これらを大切に守りながら活動に取り組んでいる。

【活動日：第二(月)・第四(木) 午前中 連絡先 Tel388-2667 斉藤 剛】



⑪ しんやまの森【松戸里やま応援団 里やまV・千駄堀】八柱駅北口から徒歩10分

ぶどう園「相田園」の南側に在り、平地部分と南西向きの斜面林で、高木のコナラを主とした落葉樹林。周囲は森と畑にかこまれて、本来の里山の雰囲気はただよい、市の中心部とは思えない別天地。近隣町会とも連携して活動し、近くの幼稚園の子どもたちが訪れ、森体験を楽しんでいる。

【活動日：第二(火)・第四(火) 午前中 連絡先 Tel080-1083-8141 大石愛佑】



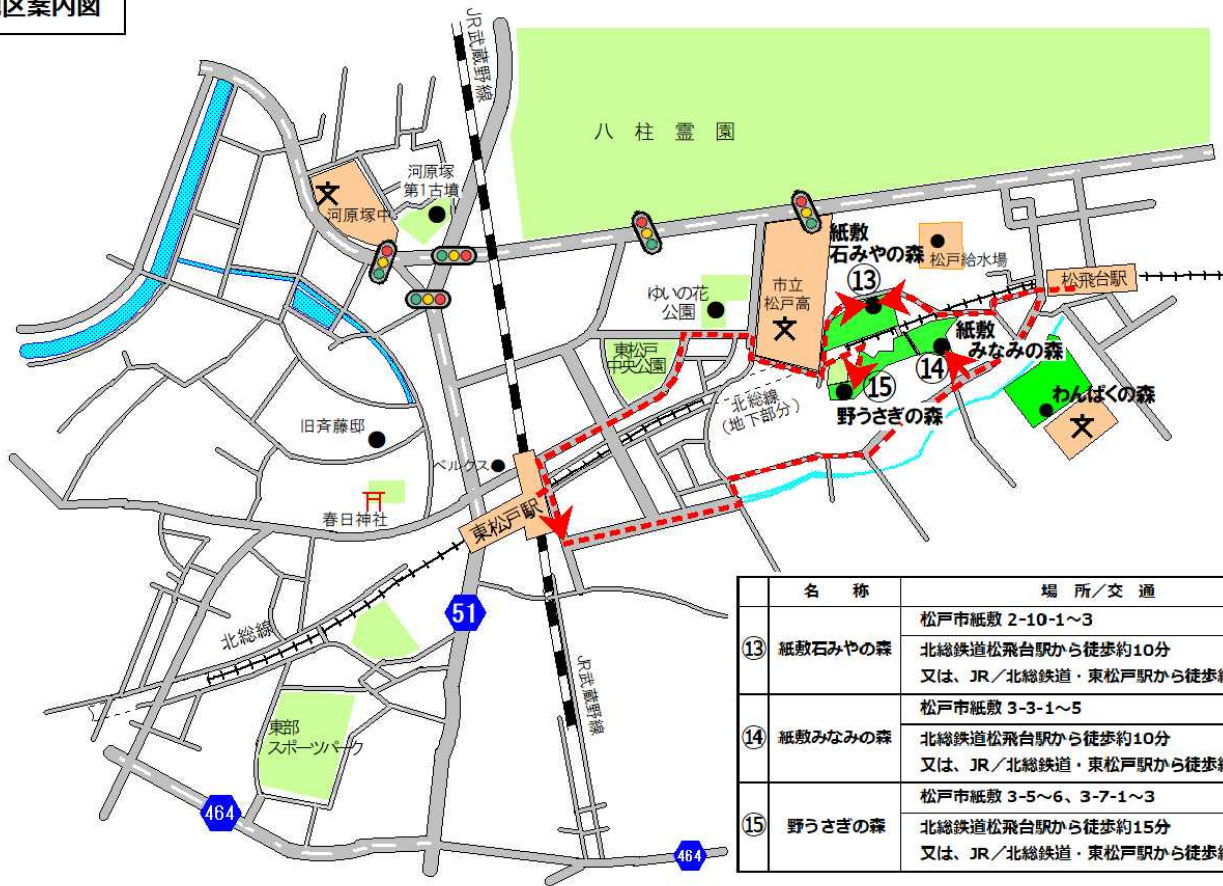
⑫ 縄文の森【松戸里やま応援団 里やまQ】21世紀の森と広場内(八柱駅南口から徒歩 15分)

公園内にあるクヌギ・イヌシデ・コナラ・スギ・ヒノキを中心とした約1haの森。シラカシの巨木がシンボルツリー。復元堅穴住居があり 縄文の森と呼んでいる。子どもたちの笑い声が広がり、誰もが楽しく散策できる明るい森を目指して整備中。畑も里やまの一部と捉え、季節に合わせて工夫しながら取り組んでいる。公園との協働イベントも活動の3本柱。

【活動日：第一(木)・第三(木) 午前中 連絡先 Tel 384-6692 ホーリ・デイビット】



紙敷地区案内図



	名称	場所/交通
		松戸市紙敷 2-10-1~3
13	紙敷石みやの森	北総鉄道松飛台駅から徒歩約10分 又は、JR/北総鉄道・東松戸駅から徒歩約15分
		松戸市紙敷 3-3-1~5
14	紙敷みなみの森	北総鉄道松飛台駅から徒歩約10分 又は、JR/北総鉄道・東松戸駅から徒歩約15分
		松戸市紙敷 3-5~6、3-7-1~3
15	野うさぎの森	北総鉄道松飛台駅から徒歩約15分 又は、JR/北総鉄道・東松戸駅から徒歩約15分

紙敷地区

森【活動団体】の紹介

⑬ 紙敷石みやの森【松戸里やま応援団 七喜の会】東松戸駅から徒歩 15 分

東松戸駅から 15 分、市立松戸高校と北総鉄道の間にある、針葉樹林と広葉樹林が交互に広がる森。森には江戸時代より大切に守られて来たことを示す 小さな石の祠“石みや様”が鎮座し、野馬除け土手の跡がある 歴史と自然がいっぱいの「健康と癒しの森」。隣接する地権者様の農地ではサツマイモなどを栽培して、近隣の保育園児や市民の皆さんとの交流を図っている。

〔活動日：第一(日)・第二(木)・第四(土)午前中 連絡先 TEL343-1982 高間伸一〕



⑭ 紙敷みなみの森【松戸里やま応援団 みなみの森の会】東松戸駅から徒歩 15 分

2014 年から活動を始めた森で、東松戸駅から松飛台駅へ向かう北総鉄道の南側斜面にある。そんな地形から、夏には木陰とそよ風が爽やかで、冬には葉を落とした梢からお日様が射し込み、心もポカポカと温まるような、そんな森づくりを目指して、大人の会員と「キッズ隊」と名付けた子供会員が楽しみながら森の整備を進めている。

〔活動日：第一(火)・第三(日) 午前中 連絡先 TEL345-4931 加藤茂男〕



⑮ 野うさぎの森【松戸里やま応援団 樹人 じゅうに の会】東松戸駅から徒歩 15 分

紙敷石みやの森と紙敷みなみの森に隣接する約 1.8ha の高木落葉樹を中心とした森。周辺に隣接する民家が少なく公道も無いことから、比較的人の立ち入りが少なかったこともあり、都会では珍しい小動物や植物が見られる自然環境が残っている。この環境を保持する為、計画的に保全活動をしている。

〔活動日：第一(水)・第三(水)・第四(日) 午前中 連絡先 TEL347-5686 吉原茂子〕



どんぐり博士をめぐろう!

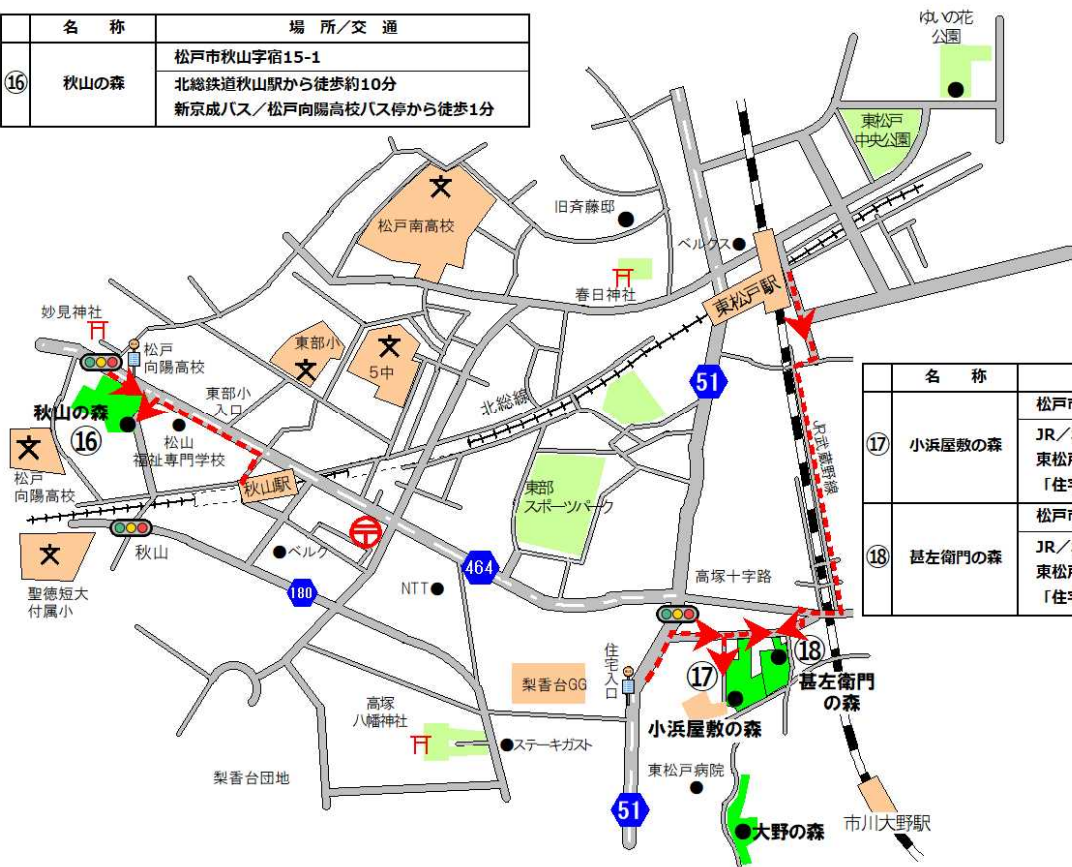
どんぐりをひろうときは、実だけではなく
「カクト」や葉っぱもひろって種類をしらべるといいよ。



「カクト」はどんぐりが入っている
おわんのようなものをいいます。

秋山・高塚新田地区案内図

名称	場所/交通
16 秋山の森	松戸市秋山字宿15-1
	北総鉄道秋山駅から徒歩約10分
	新京成バス/松戸向陽高校バス停から徒歩1分



名称	場所/交通
17 小浜屋敷の森	松戸市高塚新田字小浜屋敷93-1
	JR/北総鉄道・東松戸駅から徒歩約15分 東松戸駅からバス/本八幡駅行又は市川駅行 「住宅入口」下車、徒歩4分
18 甚左衛門の森	松戸市高塚新田字小浜屋敷97-1
	JR/北総鉄道・東松戸駅から徒歩約15分 東松戸駅からバス/本八幡駅行又は市川駅行 「住宅入口」下車、徒歩5分

秋山地区

森【活動団体】の紹介

⑯ 秋山の森【松戸里やま応援団】秋山駅から徒歩 10分

台地部は落葉樹林。西向き斜面の竹林、低地部は畑に隣接した草原。お屋敷の跡地で、クヌギやコナラの巨木、モミジやカキの木なども。池あり、井戸あり、斜面や草原と変化に富んだ環境で、竹林には散策路も設けられており、快適な空間が広がっている。

Save the Green のイベント(第4土曜日)には若い家族連れが参加している。

[活動日：第一(月)・第三(水) 午前中 連絡先 Tel365-0480 松田明光]



高塚新田地区

⑰ 小浜屋敷の森【松戸里やま応援団 小浜の森の会】東松戸駅から徒歩 15分

松戸・市川の市境に残る緑豊かな地域の一部をなす森。真竹を伐開した広場を囲む落葉樹林、谷戸の斜面に広がる落葉・常緑混交林と変化があり、160余種程の植生が観察できた。2009年に整備活動を始め、記念樹のヤマザクラを植樹し、森林保全はもとより花木や草花の植栽、準自然農法の畑づくり等も行い、楽しみながら保全活動を続けている。

[活動日：第二(金)・第四(水) 午前中 連絡先 Tel364-0580 横山 元]



⑱ 甚左衛門の森【松戸里やま応援団 甚左衛門の森の会】東松戸駅から徒歩 15分

小浜屋敷の森に隣接する約 0.9ha の落葉・常緑混交林で、一部マダケ林が混じる変化のある森である。2017年6月から活動を始めた整備途上の森で、周囲には梨畑が多く、民家も点在している。未だに立枯木や倒木も見られるが、四季の息吹の感じられる”癒しの里やま林”となるよう、会員一同力を合わせて保全活動に取り組んでいる。

[活動日：第二(水)・第四(水) 午前中 連絡先 TEL342-6261 村井行雄]



どんぐり…みつけた!



「どんぐり」というなまへの木はないんだよ。

日本にはどんぐりの仲間は
約20種類あるんだって。

(どんぐりの 文・絵 浦野和子)